



ハピネス通信

令和7年5月29日
学校通信第2号
文責：教頭

学校生活アンケート

ハピネス分校では、すべてのこどもが学びにアクセスできる新たな学校づくりを通して、ハピネス分校のこどもにとって「行きたい学校づくり」「会いたい仲間づくり」「参加したい学びづくり」に挑戦しています。

ハピネス分校での学校生活が始まり、1月半が過ぎようとしています。お子様の様子を見て、ハピネス分校は、「こどもも大人も安心して生活できる学び舎」となっていますでしょうか。

5月27日（火）の第2回ハピネスの会においては、「ハピネス分校は、児童生徒の皆さんの期待に応えることができるのか」というテーマで情報交換を行い、以下のようなご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

○様々な活動に期待を寄せています。 ○友達ができたと喜んでいきます。 ○できるようになったという達成感を味わっています。 ○自己決定して、規則正しい生活を送ることができるようになりました。 ○自己肯定感が高まったように感じます。 ○あんしんメールをさらに利用しやすいものにしてほしいと思います。 ○進路実現に向けた支援をお願いします。

ハピネス分校のスタッフは、今後も、こども理解のもと、こども一人一人が安全に、安心して生活できる時間と空間づくりに努めていきます。

保護者の皆様方におかれましては、お子様の様子やご家庭での会話の際に、お気づきの点がありましたらハピ小、ハピ中スタッフにいつでもお声掛けください。ハピネス分校のこどもにとって、ハピネス分校が居心地のよい学び舎となるよう、ご家庭とハピネス分校とが相互理解を深めながらこども支援に取り組んでいきたいと考えます。

校外学習（ワンヘルスの森に行こう!!）

5月15日（木）に、第1回校外学習として、四王寺県民の森（ワンヘルスの森）に行きました。

ハピネス分校では、こどもの心と体、生物と環境の一体的健全性をめざすべく、学校経営の柱を「ワンヘルス教育」として取り組んでいます。

ワンヘルス（One Health）とは、人と動物、そして、それを取り巻く環境（生態系）の健康を一つの連鎖として捉え、分野横断的な課題に対して関係者が連携して取り組むことを指します。人獣共通感染症や薬剤耐性菌（AMR）

対策など、様々な課題に対して、医師や獣医師、研究者、行政、企業、町民などが協力して解決していく考え方です。



【ワンヘルスに関する講話の様子】

当日は、人と生物の健康と環境の健全性について気づくことをねらいとして、ビオトープにて水生生物の観察やワンヘルスに関する講話、ワンヘルスの森の自然散策、そして、ミュージアム見学等を行いました。こどもは、元気にワンヘルスの森を駆け回り、自然と動植物に直に接することで、心も体もリフレッシュできたのではないかと思います。



【水生生物を観察する様子】

今後もハピネス分校では、計画的にワンヘルスに関する学びを深め、自ら課題を発見し、しなやかに粘り強く課題解決に取り組む児童生徒の育成に向けて、スタッフ全員でこども支援に取り組んでいきます。

なお、今回の校外活動に際しては、保護者や宇美町教育委員会の皆様方にご支援・ご協力いただきましたことに対しまして感謝申し上げます。

こどもの表情が語る成長の跡



【急須でお茶を入れる様子】

ハピ小（前期課程）とハピ中（後期課程）のこどもの学びが少しずつ進んでいます。

語らいの時間や体づくりの時間、主体的な学びの時間を通して、こども同士がともに学びを深め、こどもの「やってみたい」を尊重することで、成功体験を積み重ねたり共感的人間関係が構築されたりしています。

こども一人一人の表情を見ていると、日を追うごとに穏やかになり、ハピネス分校での生活が充実し、学びを楽しんでいることが分かります。



【国語の勉強をする様子】

6月の予定

- 6月10日（火）～12日（木） 学校生活アンケート
- 6月13日（金） 第2回校外学習（ワンヘルスの森）
- 6月16日（月）～18日（水） 教育相談週間（児童生徒）
- 6月23日（月） 地震を想定したリモート訓練【午前中授業】
- 6月24日（火） 第3回ハピネスの会（18：00～19：00）
- 6月30日（月） ワンちゃんと心のワンヘルス（第2回）



6月から、午後の活動が本格的にスタートします。午後の活動まで参加することを選択する児童生徒につきましては、お弁当や水筒の準備をお願いします。

また、ハピネス分校では、「学びへのアクセス100%」をめざしています。自宅での学習を選択する場合は、ChromeBook や個人のタブレット端末等を活用して、こどもとハピネス分校のスタッフをオンラインでつなぎ、可能な限り学びへの支援を行っていきます。

つきましては、オンラインによる学びへの支援を主体的に活用していただけると幸いです。